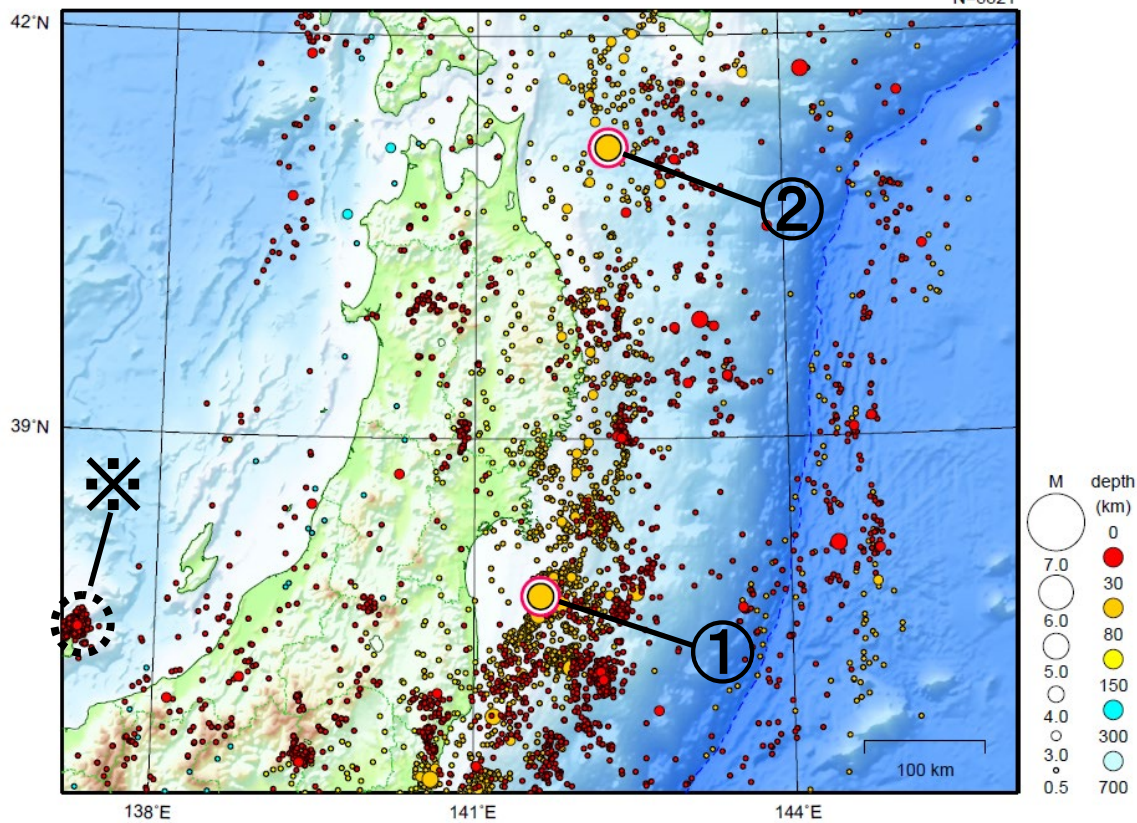


東北地方

2023/11/01 00:00 ~ 2023/11/30 24:00

N=5321



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 11月6日に福島県沖でM5.0の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 11月20日に青森県東方沖でM5.9の地震（最大震度4）が発生した。

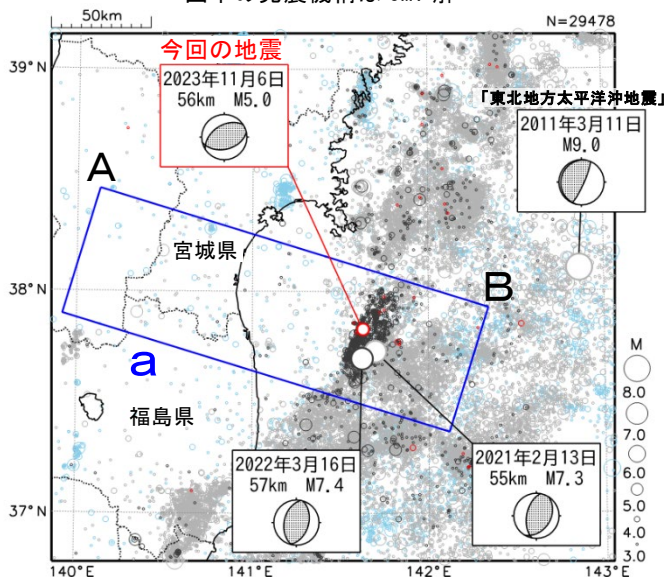
※で示した地震については関東・中部地方の資料を参照。

11月6日 福島県沖の地震

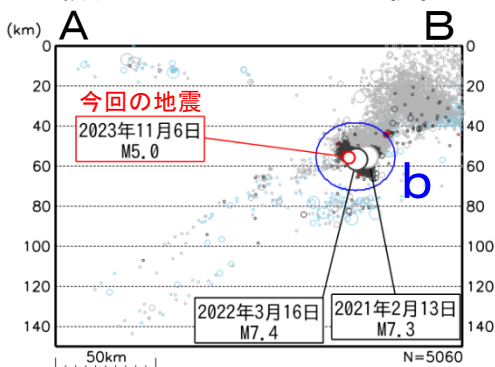
震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年3月16日以降に発生した地震を**黒色**、
2023年11月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



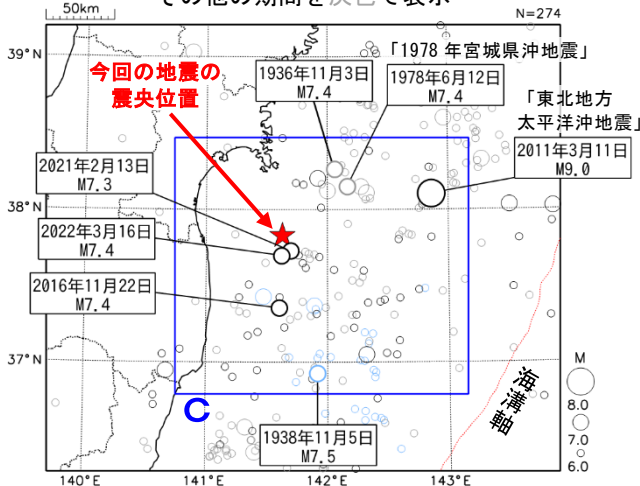
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

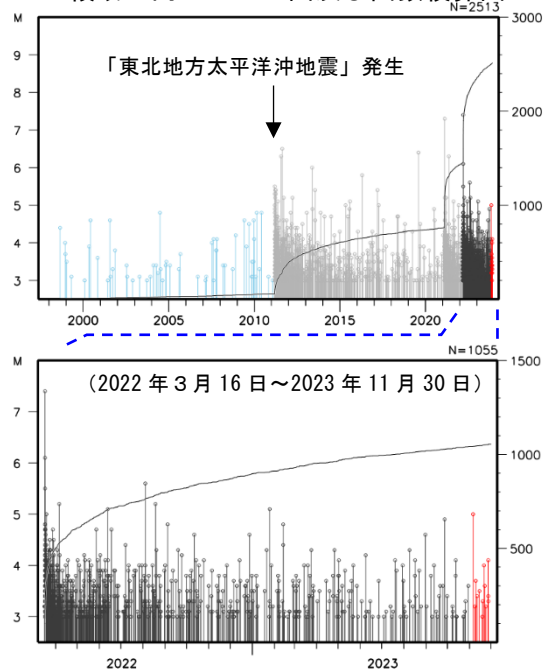
1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月11日以降の地震を**黒色**、
その他の期間を**灰色**で表示



2023年11月6日02時10分に福島県沖の深さ56kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震源付近(領域b)では、2021年2月13日にM7.3の地震(最大震度6強)、2022年3月16日にM7.4の地震(最大震度6強)が発生し、以降、これらの地震の発生以前に比べて地震回数の多い状態が継続している。

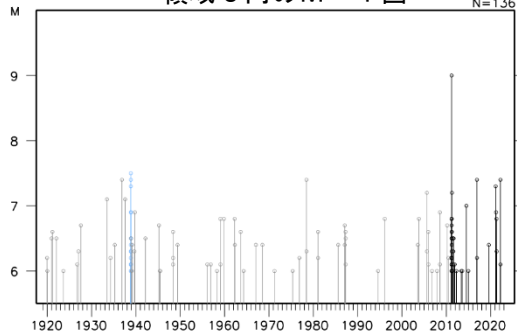
1997年10月以降の活動をみると、この地震の震源付近(領域b)では「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生前はM5.0以上の地震は発生していなかったが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震(最大震度5)が発生し、宮城県花湫で113cm(全振幅)の津波を観測した。

領域c内のM-T図

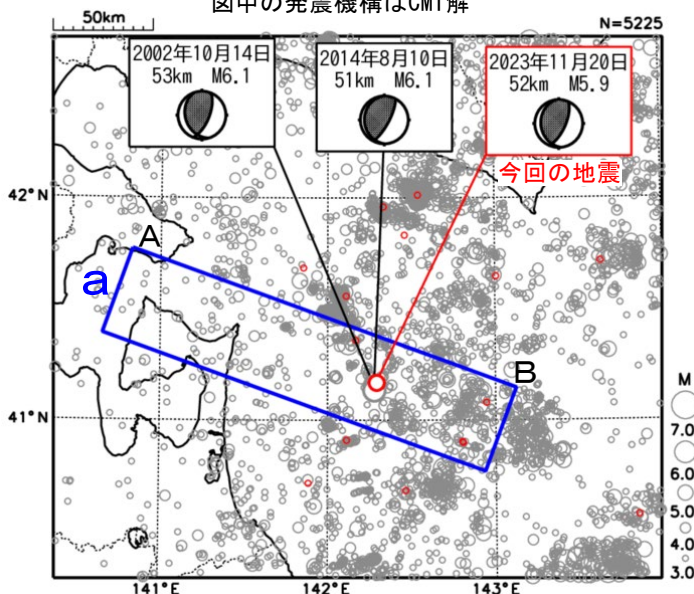


11月20日 青森県東方沖の地震

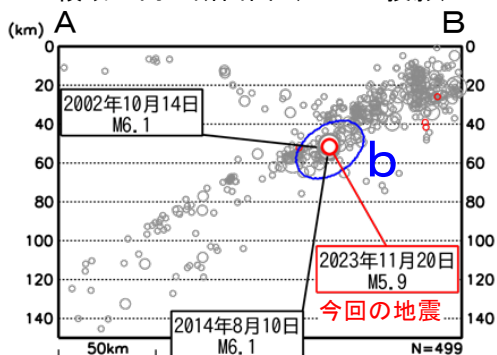
震央分布図

(1997年10月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、M \geq 3.0)

2023年11月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

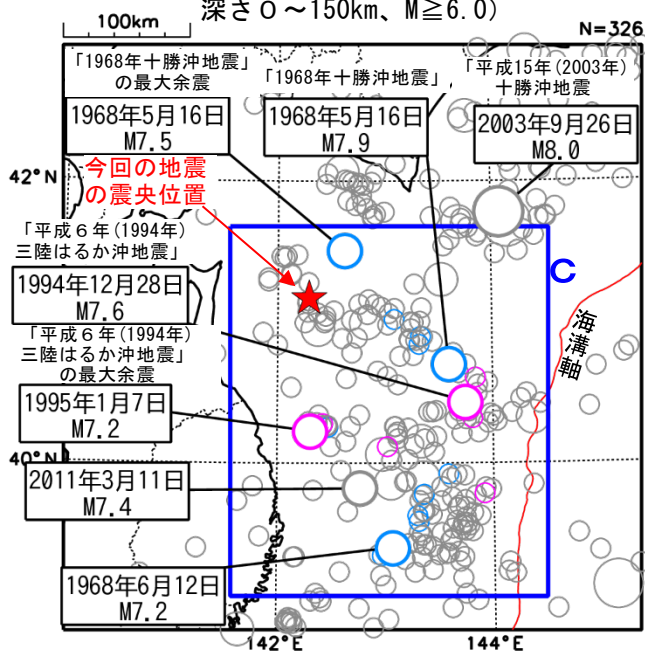


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2023年11月30日、
深さ0～150km、M \geq 6.0)

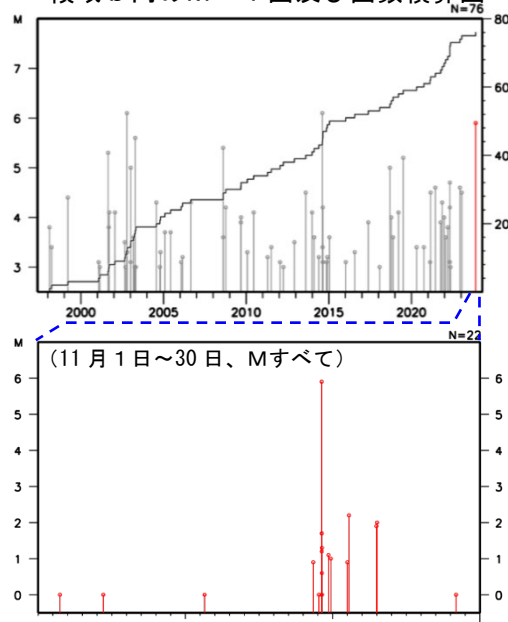


2023年11月20日06時01分に青森県東方沖の深さ52kmでM5.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2014年8月10日にM6.1の地震(最大震度5弱)が発生するなど、M6程度の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)などM7を超える地震が度々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



- : 1968年5月16日～1968年7月31日
- : 1994年12月28日～1995年2月28日
- : 上記以外の期間

領域 c 内の M-T 図

